第四回 市川笑野舞踊会

此君（このきみ）

東明流は、邦楽に精通した明治の粋人「平岡吟舟」が創流したもので、非常に洒脱な節付がなされています。
この曲は中国の賢人が竹を此君と呼んだ故事に因んで、竹の風情、竹の様々な用い方を詠い、御代の栄を祝います。
今回は素踊りにてご覧にいれます。

まかしょ

まかしょとは江戸時代に寒参りの代参などをして銭を乞うた修行者。廓噺（くるわばなし）のチョボクレから投げ節、そして各地の神々を詠み込んだ軽妙な踊りを、笑野と同じ岡谷出身で、昨年二代目市川猿翁門下の市川右近丈に入門した市川喜美介（きみすけ）が勤めます。

蝶（ちょう）の道行（みちゆき）

主君の身代わりとして死んだ恋人同士の助国（すけくに）と小槇（こまき）。現世で添い遂げられなかった二人の魂が蝶の姿となって道行をするというロマンティックな人気舞踊です。色とりどりの花々に囲まれて踊る二匹の蝶を、やがて地獄の責苦がさいなみます。
故・藤間紫師の孫、藤間爽子（さわこ）さんの小槇、笑野の助国でご覧にいれます。

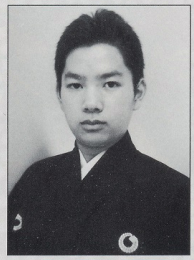
綾錦戸隠紅葉狩（あやにしきとがくしもみじがり）

紅葉狩に戸隠山を訪れた平維茂（たいらのこれもち）は女性ばかりの一行に出会います。主（あるじ）の更科姫（さらしなひめ）に勧められるまま酒と舞に興じるうち、維茂は睡魔に勝てず眠り込んでしまいます。その様子を見た更科姫は、次第に本性を現し…。
信州戸隠に伝わる鬼女伝説を元に作られた能と歌舞伎の紅葉狩を再構築し、平維茂に市川右近丈を迎え、笑野が更科姫に挑みます。

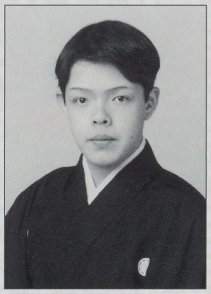
藤間爽子

藤間微悠

藤間微生


市川喜美介
（岡谷市出身）

市川猿紫


市川喜昇

ご入場券のご案内

【A 席】1階中央席A～T席　両サイドJ～Q
【B 席】1階中央席U～Y席　両サイドR～Y席　2階席
【自由席】3階席

チケット予約発売 2014年3月16日（日）

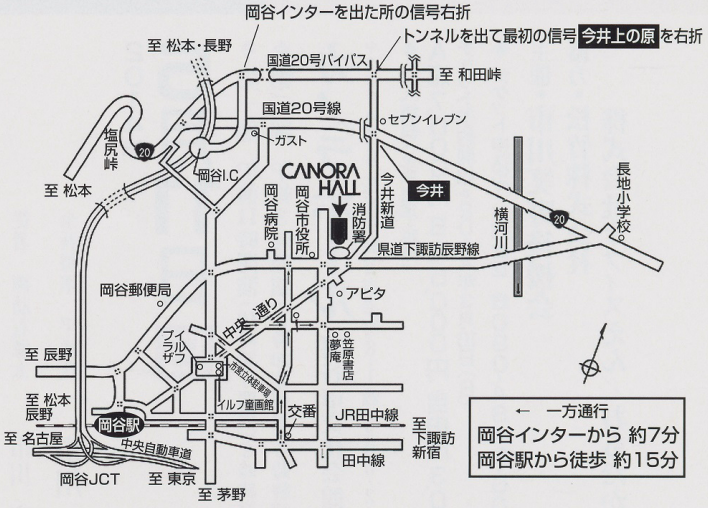
■市川笑野後援会会員先行予約がございます。
お申し込みは 市川笑野後援会事務局迄（☎0266-28-8740）
■後援会会員にはパンフレット 500円引の特典があります。
※後援会入会歓迎！［入会金1,000円・年会費3,000円］

プレイガイド

カノラホール TEL.0266-24-1300
受付時間　8:30～17:00／月曜日休館
■入場券はカノラホール窓口にて現金引換えとなります。

長野県外・ご遠方の方の取扱いについて
■専用お問合せ番号
☎090-4849-0007（小嶋）

カノラホール TEL 0266-24-1300



市川笑野後援会事務局
〒394-0081 長野県岡谷市長地権現町3-2-45（ライフプラザマリオ内）
TEL0266-28-8740 / FAX0266-28-8684